



黒住教学院

総合案内

令和6年版

黒住教学院 校訓

一 不断ふだんの研けん学がくに励はげむべし

一 下座げざの行ぎょうに徹てつすべし

一 心身しんしんの鍊磨れんまに努つとむべし

黒住教学院歌

林一九〇 作詞

(一) 吉備きびの山河さんがの精せいをうけ

秀麗しゅうれい古今こんた比類たいなき

明教めいきようこここに華はなと咲さく

神道山しんとうざんの学舎まなびやに

集つどうわれらが誇ほこりなれ

(二) 朝窓辺あしたまどべに文ふみを繙とき

夕ゆうの月つきに身みを修おさむ

念願ねがひは一つひと炬ひと燃もえて

崇たかき教祖みおやのみ瀬踏せぶみを

闡明あかし伝つたえん教旗はたの下もと

(三) 道義みちぎは退廢すたれて混濁こんだくの

怒濤どとうと試鍊しれん逆巻さかまくも

まことを楯たてに青春せいしゅんを

真理しんりにささぐ情熱ねつと意氣いき

知るしや校風こうふうわが伝統でんどう

(四) 古ふるき青史れきしに清新せいしんの

息吹いぶきをこめて人類じんるいの

祈いのりはたさんわが使命しめい

世界せかい大和たいわの黎明れいめいに

覚醒めざめの鐘かねは今いまも鳴なる

はじめに

黒住教の教祖 黒住宗忠は、人の人たる道を生きて神とられました。
天照大御神とご一体のその御教えを学び、実践することは、私たち一人ひとりがより良く生きるための大切な生き方です。
神道山 黒住教学院で、更に喜びあふれる人生を送る一步を踏み出しましょう。

黒住教学院の講義について

日本の精神は連綿と連なる神道の中に伝えられてきました。その源流たる本教の御教えが講義されます。学校教育では学ぶことのない人生哲学や、人間としての真理が説かれ、素晴らしい家庭人となる徳が身につきます。

霊地 神道山での修行や研修を通じて得られる、祈り、感謝、礼節、奉仕などの精神は、必ずや明るい人生を開き、豊かな道を歩むことになるでしょう。

神道山は、お日の出の郷といわれ、毎朝日拝式が執り行われています。

東天に上るお日様を拝したとき、言葉には表し得ない感動が全身を包み、悠久の命が自分の体内にあるのだと実感できるのです。

その喜びに気が付けることこそが、生かされて生きている自分との最高の出会いなのです。

講義のみならず日拝式への参拝を通じて、開運の人生を送る基としましょう。



令和6年新設の「オンラインお道講座」について

令和6年5月から新たに「オンラインお道講座」を開講し、専修科の講義視聴を含めた学びを、対象者を絞ることなく提供していきます。

座学はもとより、祭式作法では双方向性の学びが得られる内容を目指します。講義時に同時視聴ができない方のために、動画資料も用意し様々な受講形態に対応し、令和の時代にふさわしい講義実習内容の充実につとめてまいります。

○受講料 5,000円(資料代を含む)

○期間 令和6年5月中(計12回)

○教材 学びの友 I

○オンラインによるウェブリポート提出(計12回)

※次頁のご案内QRコードよりお申し込みが可能。

同講座の詳細は次頁をご参照下さい。

 LINE 公式アカウント	 オンライン お道講座
	 オンラインお道講座 受 申し込みフォーム 申し込みフォーム 申し込みフォーム
教団育成部門開設150年・育成機関創立120年 黒住教学院 学友会 設立総会 記念式典 開催のご案内	教団育成部門開設150年・育成機関創立120年 黒住教学院 学友会 入会申込フォーム
	 黒住教学院学友会設立準 備会入会申込フォーム 黒住教学院学友会入会申込

オンラインお道講座

- 宗忠神の教えをオンラインで学ぶ -

第1講 教祖神ご降誕から天命直授①

第2講 教祖神ご降誕から天命直授②

第3講 祭式作法(神拝作法)

第4講 人は、天照大御神のご分心をいただく神の子

第5講 三大修行①日拝

第6講 三大修行②お祓い③ご陽気

第7講 祭式作法(玉串奉奠)

第8講 祈りの誠

第9講 孝養の誠

第10講 奉仕の誠

第11講 教団史

第12講 感謝の誠

第13講 反省の誠

第14講 教書

第15講 祭式作法(正しい御神前の
まつり方・神饌)

第16講 お取り次ぎ・お導き・
お道づれ・御聖願・まること

令和6年5月より「オンラインお道講座」を開講します。内容は「学びの友Ⅰ」を教科書に用いて学修を進めます。オンラインならではの双方向性の学びが得られる内容となっていますので、ふるってご参加ください。

令和6年 **5** 月 **2** 日 開講!

時 間 10:00~16:00 (30分前よりオンライン入室受付開始)

対象者 どなたでもご受講いただけます

受講費 5,000円(裏面参照)

教 材 学びの友Ⅰ/受講ノート(お申し込み後送付)

申 込 右のお申し込みWEBフォームから必要事項をご記入お申し込み下さい。

※ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、第三者に提供することはありません。



特色

自宅で学修する

開講時に同時視聴ができない方のために、動画資料も用意してありますので講義内容を見逃す心配もありません。この機会にぜひ、オンラインお道講座で学びを深めていただけますようご案内いたします。



黒住教学院

〒701-1212 岡山市北区尾上2770



086-284-2125



086-284-0222

黒住教学院の特色・授業

【これまで(令和5年まで)の黒住教学院】

- ① **専修科** せんしゅうか 100日間の修行を終え、修了証書、並びに権訓導（教師資格）、賞書衆（禁厭伝授）、五級信教（教級）が授与されている。[聴講科(30日)では教師補資格]
[第81期(3月下旬)・第82期(9月30日)]
- 本科** ほんか 100日間の修行を終え、その後9カ月間の実地研修を積む。期間合計1年間。
- ② **教師育成科** きょういくせいか (教師志望者) 30日間の修行を終え、修了証書、並びに選考の結果、権訓導（教師資格）、賞書衆、五級信教を授与する。
- ③ **修養科** しゅうようか (生涯学習・参籠志望) 30日間の修行を終え、修了証書、並びに選考の結果、教師補資格、賞書衆、五級信教を授与する。

※教師育成科と修養科の授業内容は同じものとします。(専修科1学期のものと同様)
教師育成科は、毎年・年中を通して毎月開講を予定し、最大で年間12回開講する。
修養科の開講予定日は、教師育成科に準ずる。(修養科単独での開講は行わない)

※教師育成科・修養科は、いずれもパソコン・タブレット・スマートフォンなどを使用した「オンライン受講」を併設し黒住教学院の学修としてすすめてゆく。
得られる資格は同様に、神道山で在通学・自宅でのオンライン通信受講の違いがあるのみとする。

【令和6年からの黒住教学院】

- ① **オンラインお道講座**を新たに設置します。所定の学行を終え、修了証書を授与する。

オンラインお道講座は、パソコン・タブレット・スマートフォンなどを使用し、学行の内容は通信講座普通課程と同程度のものとする。

《春期の場合》	(3月下旬)0日	1学期(30日)	2学期(60日)	3学期(90日)	(7月上旬)100日
専修科	3月	4月	5月	6月	7月
教師育成科		育成科 第2期	(4/1開始4/30修了)		
修養科		修養科 第2期	(4/1開始4/30修了)		
オンラインお道講座			お道講座 第1期	(5/1開始～)	

	専修科生 (3月下旬～7月上旬)				本科生(7月上旬～翌年3月下旬)								
本科	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

《イメージ》 専修科	12月	1月	2月	(3月下旬)0日 3月	1学期(30日) 4月
I.教師育成科 (在学・通学)		育成科 第1期	育成科 第2期	育成科 第3期	育成科 第4期
II.修養科 (在学・通学)			修養科 第1期		修養科 第2期
III.教師育成科 (オンライン)			オンライン 育成科 第1期	オンライン 育成科 第2期	
IV.修養科 (オンライン)					オンライン 修養科 第1期

設立理念・運営方針

○時代の変化にあわせ、新たな学習の場を検討した結果、オンラインお道講座を新設する方針を定めました。令和の時代にふさわしい、現実的な人材育成を目指します。

教義の上では教祖神御教語「心にまず30日と思い定め…」(玉子の御文)に依り、30日の修行の後にしっかりとした「もと」が顯れる修行の時となるようつとめ、アクティブ・ラーニング(主体的学修)やPBL(問題発見解決型学修)を取り入れた教育方法も実施してまいります。

学科別の特徴

コース別名称	それぞれの持つ意味	受講場所	修了後取得資格
I.教師育成科(在学・通学)	専修科短縮版・現役所長の霊地修行版	鶯鳴館	教師資格(権訓導)
II.修養科(在学・通学)	養心塾の意味と自由選択・聴講科版	鶯鳴館	教師補資格(希望者)
III.教師育成科(オンライン)	教師育成(地方)講習会の在宅版	自宅	教師資格(権訓導)
IV.修養科(オンライン)	黒住教ホームラーニングの映像版	自宅	教師補資格(希望者)
V.オンラインお道講座	オンラインの特化学修版	自宅/現地	修了証書

教祖神科目群	教祖伝・教義	8	教主様
	講話	6	名誉教主様
	御年譜・概説	6	大教殿司教
	高弟伝	4	教学局長
	教書教理	8	教学局長
	御逸話	3	各課長
	輪読	7	学生監補
	教祖神科合計	42	単位履修
	教団総論	1	教務総長
	教団各論	2	教団総務
教団科目群	教団史	4	教学局長
	教法教規	3	教務課長
	社会活動史	3	神社宮司
	教団活動	2	布教部長
	地域布教論Ⅰ	1	八幡浜所長
	地域布教論Ⅱ	1	藤井所長
	地域布教論Ⅲ	1	東山所長
	地域布教論Ⅳ	1	原鹿大所長
	教団広報論	1	編集長
	教団科合計	16	単位履修
教師科目群	祝詞告辞学	5	学院長
	葬祭告辞学	1	学院長
	書道祭献	12	学院長
	通講研究Ⅰ	72	学院長
	通講研究Ⅱ	66	学院長
	通研ガイダンス	6	学院長
	祭式	42	学生監
	祭式祭事	4	勤番補
	葬祭式(OS)	3	学生監
	吉備楽史	3	奏楽寮長
教師科合計	吉備楽実技	24	奏楽寮頭
	諸祭外祭	1	大教殿勤番補
	教師科合計	239	単位履修

修養科目群	開運祭参拝	4	学生監補
	感謝祭奉仕	6	学生監補
	御会日参拝	14	学生監補
	旭川荘施設訪問	1	学生監補
	五社参り	1	学生監
	高弟奥津城巡拝	1	学生監
	修養科合計	27	単位履修
修行科目群	日拝修行	100	学生監補
	お成い修行	72	学生監補
	夕拝修行	59	学生監補
	教座会	3	教主様
	説教修行	9	大教殿司教
	大教殿実習	11	学生監
	宗忠神社実習	9	神社禰宜
	修行科合計	263	単位履修
教会所科目群	勤務者必携	3	布教課長
	教会所史学	17	布教課長
	教会所参拝	1	学生監補
	教会所実習	9	学生監補
	本部大祭参拝	2	学生監補
	御神幸参拝	1	学生監補
	教会所大祭	3	学生監補
	大祭説教修行	2	学生監補
	天心講実習	4	原鹿大所長
	教会科合計	30	単位履修
神職育成科目群	神道概説	2	学生監補
	宗忠神社概説	2	学院助手
	宗忠神社有職	2	学院助手
	神社実技(衣紋)	2	学院助手
	神社実務総論	2	学院助手
	神社実務各論	2	神社禰宜
	神社実務特講Ⅰ	2	学院助講授
	神社実務特講Ⅱ	2	学院講授
	神職育成科合計	16	単位履修

考查	毎十問考查	10	☆①～☆⑩
	育成科中間	2	15日目
	育成科期末	7	29日目
	専修科中間	1	50日目
	祭式筆記考查	1	I・II
	教書教理筆記	1	I・II
	教団史筆記	1	I・II
	教法教規筆記	1	I・II
	祝詞告辞学筆記	1	I・II
	祭式実技考查	1	I・II
課外授業科目群	教会所史学	1	レポート
	専修科期末	7	★①～★⑦
	教師検定考查	2	29・99日目
	所長資格検定	1	99日目
	追加試験(予備)	4	規定点未満
	考查合計	41	
	入学準備	1	所属教会所長
	入学面接	1	
	入学奉告式	2	学生監
	入学誓書式	2	学生監
課外授業科目群	学生心得	2	学生監
	生活指導	1	学生監
	清掃指導	1	学生監
	Open school	0	学生監
	神文捧呈式	1	学生監
	教会所移動	4	学生監
	神道山帰還	4	学生監
	奉流祈願祭	1	学生監補
	發送奉仕	3	日新・道光
	まるボラン	1	学生監
課外授業科目群	修了式準備	2	学生監
	教師錬誠会	1	学生監
	育成科修了式	2	学生監
	辞令授与式	2	学生監
	退寮準備	6	学生監
	挨拶廻り	2	学生監
	課外合計	39	

黒住教学院 第80期 専修科・第1期 教師育成科 第1期 修養科 授業表(令和4年・2022年)-実際の様子

[illegible]

黒住教学院 第80期 専修科・第1期 教師育成科 第1期 修養科 授業表(令和4年・2022年)実際の様子

21	土	一学期下旬・白衣袴	④8	まるボラン	1											お祓修行夕拝	36
22	日		④9	御会日参拝	7	御会日参拝	8	説教修行	5	教会所史学	6	教会所史学	7	教会所史学	8	お祓修行夕拝	37
23	月		⑤0	通講研究Ⅰ⑧	43	通講研究Ⅰ⑧	44	通講研究Ⅰ⑧	45	通講研究Ⅰ⑧	46	通講研究Ⅰ⑧	47	通講研究Ⅰ⑧	48	お祓修行夕拝	38
24	火		⑤1	休養日	8												
25	水		⑤2	日新発送奉仕	2	after 教室整理・復旧										お祓修行夕拝	39
26	木		⑤3	通講研究Ⅰ⑨	49	通講研究Ⅰ⑨	50	通講研究Ⅰ⑨	51	通講研究Ⅰ⑨	52	通講研究Ⅰ⑨	53	通講研究Ⅰ⑨	54	お祓修行夕拝	40
27	金		⑤4	通講研究Ⅰ⑩	55	通講研究Ⅰ⑩	56	通講研究Ⅰ⑩	57	通講研究Ⅰ⑩	58	通講研究Ⅰ⑩	59	通講研究Ⅰ⑩	60	お祓修行夕拝	41
28	土		⑤5	通講研究Ⅰ⑪	61	通講研究Ⅰ⑪	62	通講研究Ⅰ⑪	63	通講研究Ⅰ⑪	64	通講研究Ⅰ⑪	65	通講研究Ⅰ⑪	66	お祓修行夕拝	42
29	日		⑤6	御会日参拝	9	御会日参拝	10	説教修行	6	教会所史学	9	教会所史学	10	教会所史学	11	お祓修行夕拝	43
30	月		⑤7	通講研究Ⅰ⑫	67	通講研究Ⅰ⑫	68	通講研究Ⅰ⑫	69	通講研究Ⅰ⑫	70	通講研究Ⅰ⑫	71	通講研究Ⅰ⑫	72	お祓修行夕拝	44
31	火	⑤8	休養日	9	第2期教師育成科 荷物搬入 入寮準備												
6月	曜			1限		2限		3限		4限		5限		6限		7限	
1	水	三学期月上旬・白衣袴	⑤9	開運祭奉仕	5	開運祭参拝	6	教座会	3	入学奉告式	2	入学宣誓式	2	学生心得	2	生活指導	2
2	木		⑥0	宗忠神社実習	1	宗忠神社実習	2	宗忠神社実習	3	宗忠神社実習	4	宗忠神社実習	5	宗忠神社実習	6	お祓修行夕拝	45
3	金		⑥1	宗忠神社実習	7	宗忠神社実習	8	宗忠神社実習	9	宗忠神社実習	10	宗忠神社実習	11	宗忠神社実習	12	お祓修行夕拝	46
4	土		⑥2	宗忠神社実習	13	宗忠神社実習	14	宗忠神社実習	15	宗忠神社実習	16	宗忠神社実習	17	宗忠神社実習	18	お祓修行夕拝	47
5	日		⑥3	御会日参拝	11	御会日参拝	12	説教修行	7	大教殿実習	1	大教殿実習	2	大教殿実習	3	お祓修行夕拝	48
6	月		⑥4	宗忠神社実習	19	宗忠神社実習	20	宗忠神社実習	21	宗忠神社実習	22	宗忠神社実習	23	宗忠神社実習	24	お祓修行夕拝	49
7	火		⑥5	休養日	10												
8	水		⑥6	教会所移動	2	地域布教論Ⅳ	1	天心講実習	1	天心講実習	2	天心講実習	3	天心講実習	4	神道山帰還	2
9	木		⑥7	通研Ⅱ第①回	1	通研Ⅱ第①回	2	通研Ⅱ第①回	3	通研Ⅱ第①回	4	通研Ⅱ第①回	5	通研Ⅱ第①回	6	お祓修行夕拝	50
10	金		⑥8	通研Ⅱ第①回	7	通研Ⅱ第①回	8	通研Ⅱ第①回	9	通研Ⅱ第①回	10	通研Ⅱ第①回	11	通研Ⅱ第①回	12	お祓修行夕拝	51
11	土	三学期中旬・白衣袴	⑥9	教会所史学	12	教会所史学	13	教会所史学	14	教会所史学	15	教会所史学	16	教会所史学	17	お祓修行夕拝	52
12	日		⑦0	御会日参拝	13	御会日参拝	14	説教修行	8	大教殿実習	4	大教殿実習	5	大教殿実習	6	お祓修行夕拝	53
13	月		⑦1	祭式	21	祭式	22	祭式	23	吉備楽	10	吉備楽	11	吉備楽	12	お祓修行夕拝	54
14	火		⑦2	休養日	11												
15	水		⑦3	祭式	24	祭式	25	祭式	26	吉備楽	13	吉備楽	14	吉備楽	15	お祓修行夕拝	55
16	木		⑦4	祭式	27	祭式	28	祭式	29	吉備楽	16	吉備楽	17	吉備楽	18	お祓修行夕拝	56
17	金		⑦5	通研Ⅱ第②回	13	通研Ⅱ第②回	14	通研Ⅱ第②回	15	通研Ⅱ第②回	16	通研Ⅱ第②回	17	通研Ⅱ第②回	18	お祓修行夕拝	57
18	土		⑦6	通研Ⅱ第②回	19	通研Ⅱ第②回	20	通研Ⅱ第②回	21	通研Ⅱ第②回	22	通研Ⅱ第②回	23	通研Ⅱ第②回	24	お祓修行夕拝	58
19	日		⑦7	感謝祭奉仕	5	感謝祭奉仕	6	説教修行	9	祖霊祭奉仕	3	大教殿実習	7	大教殿実習	8	お祓修行夕拝	59
20	月		⑦8	通研Ⅱ第③回	25	通研Ⅱ第③回	26	通研Ⅱ第③回	27	通研Ⅱ第③回	28	通研Ⅱ第③回	29	通研Ⅱ第③回	30	お祓修行夕拝	60
21	火	三学期下旬・白衣袴	⑦9	休養日	12												
22	水		⑧0	祭式	30	祭式	31	祭式	32	吉備楽	19	吉備楽	20	吉備楽	21	お祓修行夕拝	61
23	木		⑧1	祭式	33	祭式	34	祭式	35	吉備楽	22	吉備楽	23	吉備楽	24	お祓修行夕拝	62
24	金		⑧2	通研Ⅱ第③回	31	通研Ⅱ第③回	32	通研Ⅱ第③回	33	通研Ⅱ第③回	34	通研Ⅱ第③回	35	通研Ⅱ第③回	36	お祓修行夕拝	63
25	土		⑧3	通研Ⅱ第④回	37	通研Ⅱ第④回	38	通研Ⅱ第④回	39	通研Ⅱ第④回	40	通研Ⅱ第④回	41	通研Ⅱ第④回	42	お祓修行夕拝	64
26	日		⑧4	大祓大祭	1	教師検定考査	2	スクーリング		大教殿実習	9	大教殿実習	10	大教殿実習	11	お祓修行夕拝	65
27	月		⑧5	日新発送奉仕	3	after 教室整理・復旧										お祓修行夕拝	66
28	火		⑧6	休養日	13												
29	水		⑧7	通研Ⅱ第④回	43	通研Ⅱ第④回	44	通研Ⅱ第④回	45	通研Ⅱ第④回	46	通研Ⅱ第④回	47	通研Ⅱ第④回	48	お祓修行夕拝	67
30	木		⑧8	通研Ⅱ第⑤回	49	通研Ⅱ第⑤回	50	通研Ⅱ第⑤回	51	通研Ⅱ第⑤回	52	通研Ⅱ第⑤回	53	通研Ⅱ第⑤回	54	お祓修行夕拝	68
7月	曜			1限		2限		3限		4限		5限		6限		7限	
1	金	期末・白衣袴	⑧9	開運祭奉仕	7	開運祭参拝	8	教座会	2	退寮準備	4	退寮準備	5	退寮準備	6	修了式準備	3
2	土		⑨0	育成科修了式	2	修了奉告式	2	辞令授与式 (11:20)東側室	2	教会所移動	3	教会所実習	1	教会所実習	2	教会所実習	3
3	日		⑨1	教会所大祭	2	上長田中	1	大祭説教	1	教会所実習	4	教会所実習	5	教会所実習	6	神道山帰還	3
4	月		⑨2	通研Ⅱ第⑤回	49	通研Ⅱ第⑤回	50	通研Ⅱ第⑤回	51	通研Ⅱ第⑤回	52	通研Ⅱ第⑤回	53	通研Ⅱ第⑤回	54	お祓修行夕拝	69
5	火		⑨3	休養日	14												
6	水		⑨4	通研Ⅱ第⑥回	55	通研Ⅱ第⑥回	56	通研Ⅱ第⑥回	57	通研Ⅱ第⑥回	58	通研Ⅱ第⑥回	59	通研Ⅱ第⑥回	60	お祓修行夕拝	70
7	木		⑨5	通研Ⅱ第⑥回	61	通研Ⅱ第⑥回	62	通研Ⅱ第⑥回	63	通研Ⅱ第⑥回	64	通研Ⅱ第⑥回	65	通研Ⅱ第⑥回	66	お祓修行夕拝	71
8	金		⑨6	祭式	36	祭式	37	祭式	38	祭式	39	祭式	40	祭式	41	お祓修行夕拝	72
9	土		⑨7	実技試験日	8	大祓詞奏上	9	祝詞奏上	10	祭典所役	11	葬祭模擬	13	遷魂実技	13	祭事実技	14
10	日		⑨8	教会所移動	4	教会所大祭	3	笠岡教会所	1	大祭説教	2	教会所実習	8	教会所実習	9	神道山帰還	4
11	月		⑨9	祭式考査Ⅱ	2	教書考査Ⅱ	2	教団史考査Ⅱ	2	教法考査Ⅱ	2	祝詞学考査Ⅱ	2	所長資格検定	1	修了式準備	1
12	火		⑩0	休養日	15												
13	水			専修科修了式	1	修了奉告式	3	辞令授与式 (11:20)東側室	3	追加試験	8	挨拶廻り	2	退寮準備	7	謝恩送別会	3

> 教 祖 神 科 目 群 (主な講義)

教祖宗忠神の御事跡をもとに、本教の教義、教祖神の膝下に集った高弟達や、教祖神の御自筆御書翰からなる黒住教教書をひもといて教理を学ぶ科目群です。



教主

くろずみむねみち
黒住宗道

教祖伝/教義



名誉教主

くろずみむねはる
黒住宗晴

講話



大教殿司教

くろずみのぶあきら
黒住 信彰

御年譜



教学局長

なが よ かずよし
長代和芳

教書教理



学生監補

なかやまひろあき
中山啓旭

輪読/祭式

> 教 団 科 目 群 (主な講義)

教団の様々な活動や歴史、教団のルールである教法・教規とよばれる規則や、教団と社会とのつながりについて学ぶとともに、現場教会所のあり方についても深く学んでいきます。



教務総長

むろやまこういち
室山晃一

教団総論



公室長/布教部長

くろずみむねよし
黒住宗芳

教団活動



宗忠神社司宮

くろずみただちか
黒住忠親

社会活動史



教団総務

おがわらしんや
小笠原真也

教団各論 I



教団総務

よしまつやすなり
吉松康成

教団各論 II

> 教 師 科 目 群 (主な講義)

黒住教教師として必要な知識・技術について学び、実技また試験を通して教会所実地において即戦力として役立つ能力や技能の習得につとめる科目群です。



学院長

ながつねあきひろ
長恒彰浩

祝詞学/書道



奏楽寮楽長

お の もりたか
小野盛孝

吉備楽史



奏楽寮楽頭

お の あきもり
小野彰盛

吉備楽実技



学生監

あんどうりょうた
安藤良太

祭式/生活指導

令和6年度からは
新任教員が加わ
り、新たな体制
のもとで学修指
導を行います。

令和6年 黒住教学院の新任教員



講授

日笠徹

教会所科目群

地域布教論/宗教教誨

1 時間

岡山市・藤井教会所所長、元教議会副議長、元本部布教課長、宗教教誨師の立場から、ありがとうございます運動、教誨師の現場・実感を体験を踏まえて講話を行う。



助手・学生監

安藤良太

教会所科目群

地域布教論/地域神事各論

1 時間

愛媛県・八幡浜教会所所長、同教区長の立場から、愛媛県下における地域布教のあり方や自らの布教実績などをひいて取り次ぎの心、助かりへの道筋を講義する。



講師

勝部美結

教会所科目群

地域布教論/天心講実習

1 時間

島根県・原鹿大教会所所長、女性教師の立場から実地講義を行う。同教会所に赴き天心講社(2社)で実際に天心講のあり方を体験し、理解を深めることを目的とする。



講授

矢野弘文

教師科目群

祭式学/教会所祭式各論

1 時間

岡山市・岡山大教会所所長、同教区長の立場から、岡山下・市内における地域祭式のあり方や、自らの実地的祭儀・祭式を通した知見について講義を行う。



助講授

南條雅哉

教師科目群

祭式学/教会所祭式各論

1 時間

奈良県・学園前教会所所長、同教区長の立場から、奈良県下・市内における地域祭式のあり方や、PTA活動や地域との接点を通した布教形態について理解を深める。



助手

山内章廣

教師科目群

祭式学/有職故実論/衣紋道

4 時間

兵庫県・神陽教会所所長、同教区長の立場から、兵庫県下・市内における地域祭式のあり方や、有職故実・衣紋道について実践的な学びを深め、実用に向けて学んでいく。



講師

中山祐太

教師科目群

祭式学/祭式祭事

4 時間

京都市・神楽岡中教会所所長、同教区長の立場より、祭典開始前に行う様々な動きや、神具等の諸準備について実習を交えて指導を行い、宗忠神社の実地祭式について学ぶ。



講師・学生監補

中山啓旭

教師科目群

祭式学/祭式作法

44 時間

黒住教の祭式作法について、座学また実地研修を通して学び、大教殿また全国の教会所にふさわしい所作・作法を会得する。期末には筆記および実技試験を行う。

祭式作法

礼とは、まことの心、敬いの心、
慎みの心のことです。
神様を拝む作法を学ぶことによっ
て、そのまま身を正し、心を正し
徳を養うことができます。



吉備楽

雅楽から生まれた「吉備楽」が、
本教の祭典楽として伝承されてい
ます。
黒住教の教楽「吉備楽」は必修の
科目となっています。

奉仕

奉仕は、自分の心を磨く修行
といってよいでしょう。
額に汗した者のみが知る喜び
こそ、人生の宝物なのです。



お祓い修行

祈りに徹するひととき。大御神様に抱かれ、大御神様に全身をなげうつように、下腹から
声をだして大 おお 祓 はらえの 詞を唱えます。大御神様を信じる修行、我を離れる修行ともいえます。

朝拝参拝



信心心得



御神詠拝戴



道の理拝書

黒住教学院 入学のてびき

本教の教師を目指す人(教師育成科)をはじめ、黒住教のことを深く学びたい方(修養科)等
本学院に入学を志望する皆様に下記の通りご案内をいたします。本学院の生活は全寮制で、
18歳以上の方を対象にしています。また、オンラインによる受講もできます。

※入学式前日までに入学面接(オンラインの場合はzoom面談)があります。

● 必要経費

○入学志願料 30,000円 ○教科書代 約35,000円(すべての教科書を購入した場合)

○食費実費 1日1,300円 ○諸経費 約30,000円(学院生活に用いる経費)

※修学中食費については、教会所所長の推薦により給費される制度があります。(P18)

※入学志願料・諸経費については、納入後の返金は不可ですのでご注意ください。

● 申込方法

①「^{にゅうがくがんしよ}入学願書」(本書P16を参照・コピーして作成可)

②「^{じゅうみんひょう}住民票」(市役所・役場などで発行)

③「^{けんこうしんだんしよ}健康診断書」(医師の診断・問診により、共同生活に耐え得ることを明記したもの)

④「^{りれきしよ}履歴書」(本書P26とP27を両面コピーして作成可、黒住教仕様のもの)

⑤「^{みぶんしやうめいしよ}身分証明書」(市役所・役場などで発行。[免許証や戸籍とは別個のものです])

⑥「入学志願の動機について」(1,000字程度のレポート、WEBからも可・右下欄参照)

⑦「注文書①(P21)・②(P22)・③(P23)」(授業で使用・着用のため入学式の50日前までに
は必ず提出) 入学志願料及び諸経費は入学式前日に納入して下さい。

以上7点の書類を整えて、入学式の50日前までに黒住教学院宛にお申し込み下さい。

● 持参品(必須のもの)

スーツ(女性はそれに準ずるもの)・作業着・運動靴・寝具(毛布等)・スリッパ・扇子・
筆記用具・書道(習字)用具一式・その他日用品・常備薬・健康保険証 他
荷物はあらかじめ学院宛に送付いただいても結構です。

● 購入品(必須のもの)[本書の注文書①(P21)・②(P22)・③(P23)を参照]

【教師育成科(購入の必要あり・オンラインの場合は要相談)】^{はんじゅばん}白衣(2枚)・^{おび}半襦袢・^{はかま}袴・^{ぞうり}草履・白足袋(数足)・白上衣

(学院修学中には購入の必要の無いもの)黒羽織・白鼻緒下駄(雨天用)

● 受講資格

18歳以上であり、共同生活に耐え得る健康な人であること。

但し、面接または修行当初において課程の履修が不可能と判断される時

(医師の診断書による場合等)は、修養科生・聴講生・参籠修行(扱い)と
することがあります。



書類・荷物事前送付先 〒701-1212 岡山市北区尾上神道山 黒住教学院 (TEL 086-284-2125)

通信講座各コース 受講のてびき

昭和41年にはじめられた黒住教学院の通信講座は、すでに20,000人近い人達が受講され、多くの方々から「黒住教の教えがよくわかりました」「もっと早く受講すればよかった」「生活の中に、何かあたたかい、ほのぼのとしたものが感じられるような、充実した日々を送ることができるようになりました」等、喜びあふれる感想を次々といただいています。

●受講資格	18歳以上であり、お道を学ぼうとされる方
●開講日	1 普通課程コース 毎年 4月1日開講 (申込締切 毎年3月末日) 2 教書課程コース 毎年 7月1日開講 (申込締切 毎年6月末日) 3 第二専修科(教師資格)コース 毎年 7月1日開講 (申込締切 毎年6月末日) 4 書道講座(教師専科)コース 毎年 7月1日開講 (申込締切 毎年6月末日)
●申込方法	所定の用紙に記入の上、教会所所長を通じてお申し込みください。
●受講費用	受講料は教会所所長にお渡しするか、第1回目の課題送付の時に振込用紙を同封いたします。(所属教会所が無い方は振込用紙で払込をしてください)
●教材購入	令和4年度より全ての教材は受講料の中に含まれるようになりましたので、別途購入をいただく書籍・教科書などはありません。(機関誌「日新」誌は別途申込になります)
受講申込書 送付先	〒701-1212 岡山市北区尾上神道山 黒住教学院 (TEL 086-284-2125)

1 普通課程コース 毎年 4月1日開講～翌年3月末日修了・1年間 受講料 20,000円

●目的

普通課程は、教祖神の御教えを学ぶ基礎コースです。御教えを学び、実践していく中に、教祖神の御教えの有り難さ、また教団の活動をより深く学ぶことにより黒住教のお道づれであることの自信と誇りを感じ取っていただくものです。

●内容 「学びの友Ⅰ」(共通教科書1冊)をもとに、マークシート・論述問題が出題されます。

①学びの友Ⅰ ②教祖様の御逸話 ③道のしおり ④日々の祈り(CD) ⑤受講ノートⅠ
が最初に送付されます。⑥「日新」誌は別送となります。

◇本部において、スクーリング(年二回)が開催されますので、必ずご出席下さい。(必修単位です)

●修了後 普通課程コースを修了されますと、①修了証書、並びに選考の結果、②教師補きょうしほ(白衣を着用して教会所の奉仕ができる資格)、③賞書衆しょうしょしゅう(禁厭伝授・お取り次ぎの免許)、④五級信教(教級)を得ることが可能になります。教師補になられた方は第二専修科(教師資格コース)受講により教師になることができます。

普通課程	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1回課題	第2回課題	第3回課題	第4回課題	第5回課題	第6回課題	第7回課題	第8回課題	第9回課題	第10回課題	第11回課題	第12回課題
	受講開始							スクーリング				スクーリング

2 教書課程コース 毎年 7月1日開講～翌年6月末日修了・1年間 受講料 5,000円

●目的

「教書」は教祖神が門人に出されたお手紙や御歌をそのまま原文とした本教の教典です。

教書にふれることは、教祖神に直々に御教えを受けることと同じです。この課程では、御文の読み下し方、語句の説明、拝読の手引き(内容を理解するための手引き)など、教書がより親しみやすいものになるように工夫した教材を用意し、それを二カ月に一度お送りします。普通課程を修了した方や、より御教えを深く学ぼうとされる方を対象としています。毎回新たな御文を学んでいきますので、前年受講した方も続いて受講なさってください。

●内容 「黒住教教書」「黒住教教書現代語訳」をもとに論述問題・御文の拝書が出題されます。

- ①御文の読み方 ②語句の理解 ③内容の理解 ④御文の拝書(毛筆・筆ペンにて)
⑤機関誌「日新」 ⑥レポート用紙にて記述問題への回答

●修了後 教書課程コースを修了(1年間・6回分のレポート提出)されますと、修了証書(一カ年分)が授与されます。

教書課程	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1回課題		→	第2回課題	→	第3回課題	→	第4回課題	→	第5回課題	→	第6回課題	→
受講開始												一カ年修了

3 第二専修科 毎年 7月1日開講～翌年6月末日修了・1年間 受講料 20,000円

●目的

普通課程やお道講座、神道山・養心塾等を修了し、教師補の資格を取得された方を対象とした講座です。より深く教祖神の御教えを学び、教主様の手となり足となって人のために祈り、お導きに励む教師を養成するコースです。

●内容 「学びの友Ⅱ」をもとに問題が出題されます。受講ノートⅡは二カ月に一度、合計6回の提出していただきますが、その内容は難しいものではありません。黒住教教師としての喜びと使命を自覚し、また教団・教会所の発展に奉仕する中で、ご自身の開運もしていただきたいと願う内容のものです。 ①機関誌「日新」 ②受講ノートⅡにて記述問題への回答

●教師検定試験 受講ノートⅡを6回提出された方を対象として、教師検定試験を実施します。

●修了後 第二専修科を修了(1年間・6回分のレポート提出)されますと、①修了証書、並びに選考の結果 ②権訓導ごんくんとう(教師資格・職級)、③賞書衆しょうしょしゅう(禁厭伝授きんえんでんじゅ)、④五級信教(教級)が授与されます。

第二専修科	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
第1回課題		→	第2回課題	→	第3回課題	→	第4回課題	→	第5回課題	→	第6回課題	教師検定試験
受講開始												一カ年修了

4 書道講座コース 毎年 7月1日開講～翌年6月末日修了・1年間 受講料 20,000円

●目的

教師が学ぶべき「黒住教書道」は、黒住教学院で禁厭・霊主をはじめとした知識、技術を学ぶ場がありましたが、普通課程・第二専修科では系統立てて学ぶ機会がありませんでした。

あらためて全教師に対してご受講いただきたい思いのもと、現場教会所所長の皆様にはぜひご受講下さいますようご案内いたします。

●内容

教科書をもとに12カ月・12回分の課題提出をしていただきます。

(毎月1回提出～返却)

通信添削だけではつたわりにくい所は、黒住教学院YouTubeチャンネルで動画を参照しながら練習をします。講座受講生はいつでも視聴することができます。



●修了後 講座修了後には「修了証書」が授与され、

履修者の「教師カード」に同講座修了の履歴が追記されます。

書道講座	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	第1回課題	第2回課題	第3回課題	第4回課題	第5回課題	第6回課題	第7回課題	第8回課題	第9回課題	第10回課題	第11回課題	第12回課題
	受講開始											一カ年修了

5 資格取得の期間的特徴(教師の資格を取得するには)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
在学・通学・オンライン	育成科専修科						受講開始	30日	修了・教師資格取得								
	本科						受講開始	30日	70日(通算100日)	専修科修了証書							
	修養科						受講開始										
	普通課程																
通信講座で教師を目指す場合	第1回課題																
	第2回課題																
その他	第3回課題																
	第4回課題																
黒住教学院聴講科、神道山・養心塾、地方講習会等を受講し、修了証書を取得している場合	第5回課題																
	第6回課題																
修了・教師資格取得	第7回課題																
	第8回課題																
修了・教師資格取得	第9回課題																
	第10回課題																
修了・教師資格取得	第11回課題																
	第12回課題																
修了・教師資格取得	スクリーニング																
	受講開始																
修了・教師資格取得	第1回課題																
	第2回課題																
修了・教師資格取得	第3回課題																
	第4回課題																
修了・教師資格取得	第5回課題																
	第6回課題																
修了・教師資格取得	教師検定																
	修了・教師資格取得																

黒住教学院 入学願書

学籍番号	
学院長	主 査

黒住教学院長 長 恒 彰 浩 殿

フリガナ		第 教区	黒住教	教会所所属
氏名	(男・女)	生年月日	(昭和・平成) 年 (西暦 年) 月 日生(満 歳)	
TEL	自宅 () -	携帯電話	-	
住所	〒 [][] - [][][][]	都・道 府・県	市・区 町・村	
メールアドレス(オンライン入学の場合必須) : @				

私儀 黒住教学院に入学したく別紙履歴書、住民票、身分証明書、健康診断書、並びに入学志願料を添えてお願いを申し上げます。なお、入学のご許可を得ました上は、貴学院学則はもとよりご指示ご指導を堅く守り、修行することを保証人連署をもって誓約いたします。

希望に○	選択学科種別	期間	費用概算	修了後取得資格概略
	教師育成科(在学・通学) (年 月入学予定)	30日	約15万円 (総額)	①修了証書、並びに選考の結果、②権訓導(教師資格・職級)、 ③賞書衆(禁厭伝授)、④五級信教(教級)を授与する。
	教師育成科(オンライン)	30日	約10万円	同上(費用の差額は食費分のみ)
	修養科(在学・通学・聴講) (年 月入学予定)	30日	約8万円 (総額)	①修了証書、並びに選考の結果、②教師補(教師補佐資格・職級)、 ③賞書衆(禁厭伝授)、④五級信教(教級)を授与する。
	修養科(オンライン)	30日	約5万円	同上(費用の差額は食費分のみ・教科書代込み)
	専修科(在学・通学)	100日	約5万円	教師育成科修了後、本人の希望により進学可。①修了証書を授与する。
	専修科(オンライン)	100日	約3万円	同上(費用の差額は食費分のみ・教科書代込み)
	オンラインお道講座	30日	5,000円	①修了証書を授与する。
	神道山・養心塾	9日間	約3万円	修養科の項目に同じ
	参籠(在学・通学のみ)	随時	約10万円	一カ月の場合

令和 年 月 日 志願者本人氏名 ⑩

令和 年 月 日 身元保証人氏名 ⑩

身元保証人住所	〒 [][] - [][][][]	都・道 府・県	市・区 町・村
TEL	自宅 () -	携帯電話	-

上記の通り相違なしと認め、ここに奥書いたします。

之所印長

令和 年 月 日 黒住教 教会所 所長

通信講座受講申込書

黒住教学院長 長 恒 彰 浩 殿

学院長	主 査

フリガナ			第 教区	黒住教	教会所所属
氏名	(男・女)		生年月日	(昭和・平成) 年 (西暦 年) 月 日生(満 歳)	
TEL	自宅 () -	携帯電話	-		
住所	〒 -		都・道 府・県	市・区 町・村	
メールアドレス(オンライン入学の場合必須): @					

私儀 黒住教学院通信講座を受講したく、ここに申し込みをいたします。

希望課程 に○印	課程種別	期間	費用	教科書・教材(日新誌は既に購読中の 方は「購読しない」に○を付けて下さい)	修了後取得資格概略 [受講のための要件]
	1.普通課程	1ヵ年	20,000円 (日新代は 別途)	①学びの友Ⅰ ②教祖様の御逸話 ③道のしおり ④日々の祈り(CD) ⑤受講ノートⅠ が最初に送付されます。 ⑥「日新」誌は別送となります。	①修了証書(12回の提出とスクーリング) ②教師補(教師補佐資格・職級) ③賞 書衆(禁厭伝授) ④五級信教(教級) 上記②～④になる資格を得ます。 [どなたでも受講いただけます]
	2.教書課程	1ヵ年	5,000円 (日新代は 別途)	購入 する・しない に○印 教材を購入 ①黒住教教書 5,000円 する・しない ②教書現代語訳 2,000円 する・しない ③レポート用紙 200円 する・しない	①修了証書(一カ年ごと・6回分のレポート 提出による)を授与する。 [どなたでも受講いただけます]
	3.第二専修科	1ヵ年	20,000円 (日新代は 別途)	①学びの友Ⅱ ②黒住教教書 ③日用祝詞 集 ④祭作法 ⑤受講ノートⅡが最初に 送付されます。 ⑥「日新」誌は別送となります。	①修了証書(第二専修科) 並びに教師検定選考の結果、 ②権訓導(教師資格・職級)を授与する。 [教師補の資格を持つ方が受講できます]
	4.書道講座 (教師専科)	1ヵ年	20,000円	①教科書 ②小筆 ③禁厭用紙 ④太玉串 ⑤木板 ⑥御朱印用紙 ⑦返信用封筒 ⑧申込用紙等が第1回目課題と共に送付され ます。(教科書代・送料は受講費用20,000 円の内に含まれています)	①修了証書(一カ年のみ・12回分の課題清 書提出による)を授与する。教師カードの 教歴に履修歴が記帳されます。[教師また は教師補の資格を持つ方が受講できます]

日新(1年間・送料込)	3,492円	購読する	1.普通課程 2.教書課程 3.第二専修科 で使用します
		購読しない	教会所で購読している方は左枠に○をして下さい

令和____年____月____日 志願者本人氏名_____ ㊞

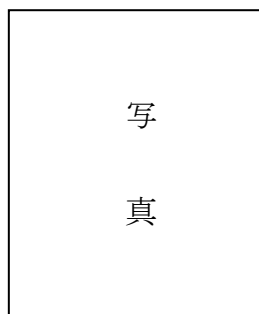
上記の受講者を推薦いたします。

令和____年____月____日 黒住教 教会所 所長 _____

之所
印長

受講番号	*入力 振替・現金
------	-----------

履 歴 書



(ふりがな)

氏 名 _____ 印 _____

生年月日 大・昭・平・令 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (満 _____ 才)

現 住 所 〒 _____ ー _____

電話番号 (_____) _____ ー _____

携帯番号 (_____) _____ ー _____

所属教会所 _____ 第 _____ 教区 黒住教 _____ 教会所

学 歴

年	月	日	

職 歴

年	月	日	

特技及び免許（運転免許等具体的に）

教歴及び事歴

(神文年月日教級賞書その他)

年	月	日	神 文 捧 呈
			賞 書 (禁厭伝授) 第 号拝受
			(初めての信教拝受の年月日) 現在 級信教
			第 期 黒住教学院専修科修了
			第 期 通信講座修了 (普通課程・第二専修科)
			第 期 神道山・養心塾修了
			第 回 地方講習会修了
			教師 () 拝受・教師補拝命

家 族 構 成

氏 名	続柄	年齢	氏 名	続柄	年齢

家 宗 (数字を○で囲む)

1. 黒住教徒である。 2. 黒住信徒である。(家宗)
--

賞 罰	
-----	--

上 記 の 通 り 相 違 あ り ま せ ん

令和 年 月 日

氏名 _____ 印

修学食費免除申請書

学籍番号

学院長	主 査

黒住教教務総長 室 山 晃 一 殿

フリガナ		第 教区	黒住教	教会所所属
氏名	(男・女)	生年月日	(昭和・平成) 年 (西暦 年) 月 日生(満 歳)	
TEL	自宅 () -	携帯電話	-	-
住所	〒 -	都・道 府・県	市・区 町・村	
メールアドレス(オンライン入学の場合必須) : @				

私儀 黒住教学院における下記の課程修了後は専心、お道の修行につとめることに相違なしと誓い、保証人連署をもって誓約いたします。

履修に○	選択学科種別	期間	食費費用概算	覚書
	教師育成科(在学・通学)	30日	約4万円	黒住教人材育成規定に則り、本学院修了後は、専心して黒住教のために奉務することが必要であり今後いずれかの時期、教団のために奉職できなくなった場合は当然、本修学食費は負担しなければならないことを身元保証人(費用負担連帯義務を負う)とともに承知しています。
	修養科(在学・通学・聴講)	30日	約4万円	
	専修科(在学・通学)	100日	約13万円	

令和____年____月____日 志願者本人氏名_____ ㊞

令和____年____月____日 身元保証人氏名_____ ㊞

身元保証人住所	〒 -	都・道 府・県	市・区 町・村
TEL	自宅 () -	携帯電話	-

上記の者、黒住教学院を修了後は専心、大道宣布につとめることに相違なしと認め、人材育成規定に則り、ここに修学食費免除を申請いたします。

令和____年____月____日 黒住教 教会所 所長 _____

之
所
印
長

教師志願書

学院長	主 査

黒住教教務総長 室 山 晃 一 殿

フリガナ			第 教区	黒住教	教会所所属
氏名	(男・女)		生年月日	(昭和・平成) 年 (西暦 年) 月 日生(満 歳)	
TEL	自宅 ()	—	携帯電話	—	—
住所	〒 — 都・道 市・区 府・県 町・村				

私儀 黒住教教師を志願したく、所属教会所所長、並びに教区長の奥書及び検定審査料を添えてお願い申し上げます。

年	月	日	神文捧呈（未捧呈の場合、本志願書と共に「神文の事」を提出します）
年	月	日	賞書(禁厭伝授) 第 号拝受(本籍地:)
年	月	日	現在 信教拝受（現在無級の場合、「五級信教」を拝受します）
年	月	日	第 期 黒住教学院(教師育成科 ・ 第二専修科)修了(修了見込)
年	月	日	第 期 黒住教学院(通信講座普通課程 ・ 修養科)修了(修了見込)
年	月	日	第 期 神道山・養心塾修了
年	月	日	第 期 講習会(地方講習会 ・ 教師育成講習会 ・ お道講座)修了
年	月	日	教師補補命 黒住教学院(通信講座普通課程 ・ 修養科)修了

上記の課程を修了したことに相違ありません。

令和____年____月____日 志願者本人氏名_____ ㊞

上記の者、当教会所所属にして信仰手厚く身元確実、道念堅固、教師志願規定を満たす者に相違ありませんので、ここに奥書いたします。

令和____年____月____日 黒住教 _____ 教会所 所長

之
所
印
長

上記の調査につき、これを認めます。

令和____年____月____日 黒住教 第 _____ 教区 教区長

長
教
印
区

教師補志願書

学院長	主 査

黒住教教務総長 室 山 晃 一 殿

フリガナ		第 教区	黒住教	教会所所属
氏名	(男・女)	生年月日	(昭和・平成) 年 (西暦 年) 月 日生(満 歳)	
TEL	自宅 () -	携帯電話	-	-
住所	〒 - 都・道 市・区 府・県 町・村			

私儀 黒住教教師補を志願致したく、所属教会所所長、並びに教区長の奥書及び検定審査料を添えてお願い申し上げます。

年	月	日	神文捧呈（未捧呈の場合、本志願書と共に「神文の事」を提出します）
年	月	日	賞書(禁厭伝授) 第 号拝受(本籍地:)
年	月	日	現在 信教拝受（現在無級の場合、「五級信教」を拝受します）
年	月	日	第 期 黒住教学院(通信講座普通課程 ・ 修養科)修了(修了見込)
年	月	日	第 期 神道山・養心塾修了
年	月	日	第 期 講習会(地方講習会 ・ 教師育成講習会 ・ お道講座)修了

上記の課程を修了したことに相違ありません。

令和____年____月____日 志願者本人氏名_____ ㊞

上記の者、当教会所所属にして信仰手厚く身元確実、道念堅固、教師補志願規定を満たす者に相違ありませんので、ここに奥書いたします。

令和____年____月____日 黒住教 _____ 教会所 所長

之所
印長

上記の調査につき、これを認めます。

令和____年____月____日 黒住教 第 _____ 教区 教区長

長教
印区

《個人用》「教師補志願の手続き」の方法について

「教師補」資格を志願するためには、黒住教学院聴講科(一カ月)、通信講座普通課程、神道山・養心塾、教師育成講習会(地方講習会・お道講座)のいずれかを修了し、修了証書をいただいていることが必要です。

教師補志願の手続き方法と神饌料は下記の通りです。もれのないように記入し、書類を全て揃えて所属教会所所長先生にお渡し下さい。

	名 称	必 要 書 類 内 容	神 饌 料
①	きょうしほしがんしょ 教師補志願書	所定の用紙を使用して下さい。教会所所長、教区長の奥書並びに押印をお願いします。 (教会所所長印・教区長印であり、個人の認印ではありません)	教師補神饌料 5,000円
②	りれきしょ 履歴書	所定の用紙を使用して下さい。学歴は最終学歴のみ記入して下さい。最終項に再度自分の氏名と押印をする欄がありますので忘れないようにして下さい。 (これは自身が署名した証明になる重要な部分です)	未記入の箇所があれば再度返送になりますのでくれぐれもご注意ください
③	みぶんしょうめいしょ 身分証明書	本籍地の市役所、役場などで発行してくれます。 (<u>住民票・免許証・戸籍は不可</u>)ですのでお間違いないようご注意ください。これらとは別個のものです)	各自治体により異なるが数百円程度必要詳しくは役所住民課迄
④	しんもんほうてい 神文捧呈	すでに捧呈済みの方は②履歴書に捧呈年月日を記入して下さい。まだ捧呈されていない方は、この機会に神文を捧呈して下さい。(毛筆で記入します)	神文束修料 5,000円
⑤	ごきゅうしんきょう 五級信教	すでに教級をいただかれていますの方は②履歴書に拝受年月日を記入して下さい。まだ拝受されていない方は、この機会に五級信教を拝受して下さい。	教級神饌料 5,000円
⑥	しょうしよしゅう 賞書衆	・⑤と同じ。賞書衆とは「 ^{きんえんでんじゅ} 禁厭伝授」といい、お取り次ぎ(^{きんえん} 禁厭《まじない》)をすることを許可された免許のことで、教師補の資格とは別個のものです。	賞書衆神饌料 5,000円
	すでに神文捧呈を済ませ五級信教をお持ちの方		①+⑥=10,000円
	全部申請の場合		①+④+⑤+⑥=20,000円

教科書申込書

黒住教日新社御中

フリガナ			第 教区	黒住教	教会所所属					
氏名	(男・女)	履修種別	在学・通学で受講予定(左枠に○印)							
			オンラインで受講予定(左枠に○印)							
TEL	自宅()	—	携帯電話 — —							
住所	〒 —		都・道 府・県		市・区 町・村	<table border="1"> <tr> <td>在学預</td> <td>on送付</td> </tr> <tr> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table>	在学預	on送付	/	/
	在学預	on送付								
/	/									
メールアドレス(オンライン入学の場合必須): @										

下記の教科書は、所属教会所所長やご家族所持のもの(借用品)を持参される場合、最新版かどうかを必ず確認した上で使用して下さい。旧版と新版では参照ページが全く異なっている場合や、旧・現代仮名遣いなどの、様々な面から不便になりますので、なるべく最新版を使用できるようご注意願います。

書籍名	最新版	講義科目	価格(円)	申込数	金額
くろずみきょうきょうしよ 黒住教 教書	平成10年9月20日	教書教理	5,000	冊	円
くろずみきょうきょうてんしやう 黒住教 教典 抄	平成25年3月 6版	教書教理	1,500	冊	円
くろずみきょうきょうしよげんだいごやく 黒住教 教書 現代語訳	平成26年10月8日	教書教理	2,000	冊	円
くろずみきょうきょうそでん 黒住教 教祖伝	平成26年11月 11版	教祖伝	1,500	冊	円
きやうぞさま ごいつわ 教祖様の御逸話	平成22年2月 8版	教義	1,500	冊	円
くろずみきやうにひやくねんし 黒住教 二百年史 I・II	平成28年2月25日	教団史	5,000	冊	円
さいしきほう 祭式作法	昭和60年11月 4版	祭式作法	500	冊	円
にちやうのりとしやう 日用祝詞集	平成24年11月 4版	祝詞	1,000	冊	円
まな とも 学びの友 I (黒住教学院発行)	令和4年4月1日 1版	通講研究 I	3,000	冊	円
ひのみかげ	平成22年4月 5版	教義	1,500	冊	円
むねただ 宗忠さま(絵本ではない)	平成3年9月15日	輪読	1,200	冊	円
い おし 生きる教え	平成4年5月 3版	教義	500	冊	円
しんじんこころえ 信心心得	平成26年10月 9版	教義	300	冊	円
みち 道のしおり	平成25年6月 6版	お祓い修行他	100	冊	円
にちにち いの 日々の祈り	(CD)	お祓い修行他	1,000	枚	円
くろずみしんどう 黒住神道 -いのちの親の七光り-	黒住教のあらましを含む	教祖伝	800	冊	円
にっしん 日新(毎月、別途送付されます)	1年分購読(12冊分2,640円)	送料	852円		(3,492円)
(送料は別途実費負担)			合計	冊	円
上記の教科書を全冊購入(する・しない)・教科書を自宅に送付(する・しない)				16 冊	26,400 円

備品申込書

黒住教日新社・高田装束店 御中

フリガナ			第 教区	黒住教	教会所所属	
氏名	(男・女)	履修種別	在学・通学で受講予定(左枠に○印)			
			オンラインで受講予定(左枠に○印)			
TEL	自宅()	—	携帯電話	—	—	
住所	〒	□□□□	—	□□□□	都・道 府・県	市・区 町・村
					在学預	on送付
				/	/	
メールアドレス(オンライン入学の場合必須): @						

品名	性別	種 別	サイズ	数量	価格	備考(令和5年10月現在価格です)
くみひも 組紐	男性	二つ組		本	3,000	羽織の組紐です。 羽織に付けて着用します。
		四つ組		本	4,000	
		白龍打		本	2,500	
	女性	平織り		本	2,000	
ぞうり 草履	男性	アメ底	L	足	1,800	紋服時の移動には草履を使用します。 自分の足のサイズに合ったものを使用 するようにしましょう。
		アメ底	LL	足	2,300	
		カバー付き(雨天用)		足	2,600	
	女性	合皮鼻		足	2,000	自分の足のサイズは_____cm です。
		カバー付き(雨天用)		足	2,600	
げ た 下駄	男性	桐製	フリー	足	2,500	雨天の移動時には下駄を使用します。 (必須ではありません)
	女性	桐製		足	2,500	
た び 足袋	男性	晒裏	22cm～ 26cm迄	足	1,350	夏用、冬用ともに着替えが必要です ので複数用意されるのがよろしいでしょう。
		ネル		足	1,350	
	女性	晒裏		足	1,350	
		ネル		足	1,350	
せんす 扇子	大			本	1,000	神拝作法に必要です。必ず携帯するよう にしましょう。(大小同価)
	小			本	1,000	
合計						合計 円(記入者書込)

各種確認	種別	黒住教日新社	しんとうざん	納品日	発送日	入金日	基本納期
1.教会所 2.教師育成科 3.修養科 4.第二専修科	/	/	/	/	/	/	/
							日までに必要

白衣・袴等 注文書

(株)高田装束店 御中

《令和5年10月に下記の価格に改定されます》

フリガナ			第 教区	黒住教	教会所所属	
氏名	(男・女)	履修種別	在学・通学で受講予定(左枠に○印)			
			オンラインで受講予定(左枠に○印)			
TEL	自宅()	—	携帯電話	—	—	
住所	〒 —		都・道 府・県	市・区 町・村	在学預	on送付
					/	/
メールアドレス(オンライン入学の場合必須): @						

名称	種 別 ・ 数 量	金額の目安	備考(女性用羽織は特注扱い)
はおり 羽織	①夏用化繊 紹(上等品)五ツ紋入り	枚 48,500	家紋コピー貼付欄→ (右余白にコピー貼付 して下さい)特注誂え の家紋は4,500円が 別途必要になります ※五ツ紋が入ります
	②夏用化繊 紹 五ツ紋入り	枚 38,000	
	③冬用化繊 (上等品)五ツ紋入り	枚 58,000	
	④冬用化繊 五ツ紋入り	枚 36,000	

家紋名【 】 □家紋を入れない(無紋を注文します)

※家紋名がわからない場合はお墓等にある紋を撮影し、プリントを右上のコピー貼付欄に添付して下さい。
(女性の家紋は自分の出生の家の家紋が女性紋となりますのでご注意下さい)値段が安価な化繊もありますが、
こちらは紋が樹脂製となりますとともに、色合いが多少こととなりますことをあらかじめお伝えいたします。

はくい 白衣 (必須)	①T/C 春・秋・夏用(男・女)	枚	8,000	夏用、冬用ともに着替えが必要です ので複数枚用意されるのがよろしい でしょう。男女の性別、正確な寸法 を必ず記入して下さい。 身 長 _____ cm ・ 胸囲 _____ cm 腰回り _____ cm ・ (M ・ L ・ LL)
	②ポリエステル 春・秋・冬用(男・女)	枚	8,000	
	③テترون麻 夏用(男・女)	枚	10,000	
	④テترونウール 冬用(男・女)	枚	10,500	
じゅばん 襦袢 (必須)	①(合用)天竺木綿(男・女)	枚	3,800	夏用、冬用ともに着替えが必要です ので複数枚用意されるのがよろしい でしょう。男女の性別、正確な寸法 を必ず記入して下さい。
	②(冬用)ネル(男・女)	枚	4,800	
	③(夏用)クレープ地(男・女)	枚	4,000	
はかま 袴 (必須)	①男性用(茶色道中袴)バルック	腰	18,500	この袴は平素の御神前づとめ用 で、道中袴とよばれます。 (女性用はマチなし加工の金額です)
	②男性用(茶色道中袴)ウール	腰	28,000	
	③女性用(紺色差袴)化繊単仕立 Gポップ	腰	16,000	
	④女性用(紺色差袴)化繊単仕立 ウール	腰	24,000	
おび 帯 (必須)	(男・女)用 綿一楽	本	2,200	白衣・襦袢を着用する際に必ず使用 します。

各種確認	種別	高田装束店	納品日	発送日	入金日	基本納期
	1.教会所 2.教師育成科 3.修養科 4.第二専修科	/	/	/	/	/
						日までに必要

祭典用装束等 注文書

(株)井筒装束店 御中

井筒装束店



フリガナ			第 教区	黒住教	教会所所属				
氏名	(男・女)	履修種別	在学・通学で受講予定 (左枠に○印)						
			オンラインで受講予定 (左枠に○印)						
TEL	自宅 ()	—	携帯電話	—	—				
住所	〒	—	都・道 府・県	市・区 町・村	<table border="1"> <tr> <td>在学預</td> <td>on送付</td> </tr> <tr> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table>	在学預	on送付	/	/
	在学預	on送付							
/	/								
メールアドレス(オンライン入学の場合必須) : @									

名 称	種 別 ・ 数 量		金額の目安 (税込)	備考(令和4年5月現在価格です。装束店の都合により金額は変更 更がありますことをあらかじめご理解ください)
しゃく 笏 (男・女)用 ↑いずれかに○	SKX0051 唐木銘木 (黒檀・紫檀)	本	18,000	     
	SKX0061 唐木銘木 (蛤端)	本	19,000	
	SKX0021 櫟製柎目	本	(男)11,000 (女)9,900	
	SKX0031 櫟製 (荒柎目・板目)	本	(男)8,800 (女)7,700	
	SKX0031 櫟製 (蛤端)	本	(男)14,850 (女)13,750	
	黒住教では特段、使用木について規定はありませんが、昔から櫟(イチイ・一位に通じる)の笏を使用するのがよいと昔から言われています。			
じょうえ 浄衣 (白色) 	男性用浄衣	領	40,700	教会所にて、祭典奉仕をする場合に必要です。教会所に備品として存在するようでしたらそれを用い、購入はしなくてもよいでしょう。(葬儀用は原則・鈍色の布衣を用います。ご注文は右上欄のQRコードから)
	女性用浄衣 [黒住教女性教師専用]	領	40,700	
さいてんようはかま 祭典用 袴 (白色)	男性用祭典袴 SSB0556 [化繊・むつび羽二重]	腰	13,530	祭典用の袴は男性は白差袴、女性も同様のものを使用します。祭典では道中袴とは違うものを用います。(葬儀用は原則・鈍色の袴を用います)
	女性用祭典袴 [黒住教女性教師専用]	腰	16,830	
えぼし 烏帽子 	男性のみ(懐中烏帽子)	頭	11,220	浄衣を着用した場合、男性は必ず着用します

各種確認	種別	井筒装束店	納品日	発送日	入金日	基本納期
	1.教会所 2.教師育成科 3.修養科 4.第二専修科	/	/	/	/	/
						日までに必要

さんろう 「参籠のてびき」

神道山に参籠しておかげをいただく方は所定の用紙（本書P14を印刷して使用可）にもれのないように記入し、書類を全て揃え、所属教会所所長を通じて黒住教学院に届出をして下さい。

（平成6年3月）

	名 称	必 要 書 類 内 容	
①	さんろうしがんしょ 参籠志願書	所定の用紙を使用して下さい。教会所所長また身元保証人の奥書並びに押印をお願いします。 （教会所所長印・教区長印であり、個人の認印ではありません）	本書 P16 参照 「参籠」項目 に○印
②	りれきしょ 履歴書	所定の用紙を使用して下さい。学歴は最終学歴のみ記入して下さい。最終項に再度自分の氏名と押印をする欄がありますので忘れないようにして下さい。	本書P26・P27 の「履歴書」を 表裏コピーして 使用できます
③	けんこうしんだんしょ 健康診断書	本学院では参籠修行にあたり、医師による「修行・研修に耐えうる事が可能である」旨の診断書を要します。（各医院で様式はことなります）	健康診断書を 必ず同封して ください
④	さんろうひ 参籠費	1日につき3,000円 （朝昼夕食費・寝具・入浴費用等に該当します）	参籠費(1日) 3,000円
⑤	さんろうかんしゃきん 参籠感謝金	1カ月につき10,000円(③参籠費とは別個の感謝金) 〔例〕 6月25日開始～7月25日終了の30日間の場合 ③参籠費(3,000×30日間＝90,000円)＋ ④参籠感謝金(10,000円)＝100,000円 のように ●電気水道光熱費、入浴・シーツ交換・寝具費 等	参籠感謝金 10,000円
持参品		男性 スーツ(女性はそれに準ずるもの)・作業着・運動靴・寝具(毛布等)・スリッパ・扇子・筆記用具・その他日用品・健康保険証・常備薬・白上衣（購入の場合あり）	
荷物について		荷物は事前(前日まで)に黒住教本部宛に送付しておくか、修行の開始日に持参して下さい。送り先 〒701-1212 岡山市北区尾上2770 黒住教本部 「あなたのお名前」宛	

諸 注 意 事 項

参籠修行の規則

○参籠者は修行しおかげをいただくのでありますから、以下の諸注意点を遵守していただきます。

1. 「御日拝」に参拝すること。
2. 「お祓い修行」「ご陽気修行」に励むこと。
3. 「奉仕の誠」と「感謝の誠」に沿い、実践すること。
4. 礼儀を但し、さわやかな挨拶をすること。
5. 飲酒をしないこと。

教師育成部門開設150年・育成機関創立120年

黒住教学院 学友会 設立総会 記念式典

日時 令和6年10月1日 (開運祭に併せて)

- 【第1部】 記念式典 10:00 於 神道山大教殿 教場
【第2部】 記念総会 11:30 於 神道山大教殿 みいところ
【第3部】 記念行事 15:00 於 宗忠神社拝殿
「大々御神楽」 奏行(予定)

【第1部】 記念式典 式次第

- 1 開式の辞
- 2 国家斉唱
- 3 黒住教学院 学院歌斉唱
- 4 学院長式辞
- 5 来賓祝辞
- 6 教主様 御親教
- 7 閉式の辞

【第2部】 記念総会 式次第

- 1 開会の辞
- 2 設立経過報告
- 3 議長の選出について
- 4 議事録署名人の選出について
- 5 設立趣意書及び規約(案)について
- 6 役員の選出について
- 7 今後の学友会の流れについて
- 8 閉会の辞

【第3部】 記念行事 15:00

「大々御神楽」 奏行(予定)

設立趣意書

わたしたちの母校、黒住教学院は本年開学120年を迎え、修了生はそれぞれの熱い想いをもちつつ、お道の諸分野で活躍しています。

これまで、時代・学科ごとに教師養成所同窓会「日新会」や通信講座同窓会など、いくつかの同窓会が設立されましたが、全ての同窓生が一体感を得ることができる組織が無い状況にありました。同じ母校で学んだことで、さまざまな分野の垣根を越えて成長し合える、緩やかな修了生同士の「縁」を作ることはいかなるでしょうか。そして、学院と相互に協力し、お道の学びを深め、広めていくことはできないか。こうした思いから、各学科の修了生有志で準備委員会を発足し意見交換を重ねた結果、全体の同窓会組織である「学友会」を設立する運びとなりました。この会では、次の縁を創り、新たな“まること”の循環を生んでお道の発展に貢献していく所存です。

皆様におかれましては、趣旨にご理解、ご賛同いただき、今後の格別のご支援とご協力を賜われますよう、何卒よろしくお願いいたします。

学友会設立準備委員代表
戸田忠文



教師育成部門150年のあゆみ



明治7年(1874) 星島良平高弟 伝習係長に任ぜられる

[教師育成部門の創設]

明治37年(1904)10月1日 教師養成所開所式

[教師育成機関の創設]

昭和25年(1950) 大元学院に改称

昭和49年(1974) 神道山学院に改称

昭和50年(1975) 黒住教学院に改称

令和6年(2024)10月1日 教師育成部門開設150年・

育成機関創立120年記念式典



黒住教学院の足跡

— 教師育成部門150年の歴史の上に —

令和6年(2024)は神道山ご遷座五十年の年にあたるのは周知のことだが、黒住教の教師育成機関が創立されて百二十年の年柄にもあたるため、ここで黒住教学院の歴史について触れてみたい。

本学院は明治37年(1904)10月1日に「黒住教教師養成所」として開所式を行い、翌日10月2日より授業が開始された。ここを基点とするならば教師育成機関120年の歴史ということになるが、教団の取り運びの上では、明治7年(1874)に星島良平高弟が伝習係長に着任している。伝習係を現代に置き換えると学院の基礎に相当するのは間違いなく、星島高弟を学院の始祖と定めることもできる。そうすると、歴史的には教師育成部門150年の星霜を重ねたことになるだろう。当時の伝習係には野崎在善師や、花鳥風月(黒住教教書の前身)の編者である角南作吾師らが大いに活躍された。この時期は教祖神の御教えを文字化・編纂し、布教することに重きが置かれていた時代で、先師・先輩方の情熱が今に伝わってくる。黒住教教師養成所の初代所長には森住豊次郎師が着任し、続いて黒住宗武師、三好梧一師、黒住忠利師らが所長をつとめられた。設立の46年後の昭和25年(1950)には「大元学院」と改称され、引き続き教師育成の役割を担った。本学ではいずれの場合も教員を「教授」とは称さず、「講授」と呼ぶが、この歴代講授陣の中でも河本一止師は、坪内逍遙に師事し、他教の追隨を許さない説教で有名で、宗教界の老舗新聞「中外日報」の真涙涙骨社主に「日本神道界に河本一止あり」「日本神道界随一の講師なり」といわしめ「お道の泰斗」と呼ばれた。昭和36年ごろには大元文化女学院があり同学の学院長には林一九〇師が就任した。昭和49年(1974)には「神道山学院」に改称され、更に昭和50年(1975)には「黒住教学院」に改称。学院長には黒住忠明師、黒住信彰師、長代和芳師が着任し、今日の小職へと至る。黒住教学院としての修了生は今日まで専修科生(百日修行)495名、聴講生(30日)76名、教師育成科生(30日)3名、修養科生(随時入学)2名。通信講座普通課程は5666名、第二専修科は358名。教書課程は通算して614名が修了し、今も継続して受講中の方も次々とある。

修了生総数は教師養成所や大元学院の学籍簿を繙けば更に増加するが、なにぶんにも古い記録のため、正確を期するのは難しいが、大雑把な計算でも総受講生は12,000人程になり、とても大きな歩みといえるだろう。

令和6年10月1日には教師育成部門が創設されて150年ということを再確認するに至った。学院としても新たな学びの形を常に考え続けなくてはならない。黒住教教規第7節第118条に「本教教師を養成するため、黒住教学院を設ける」とある。ここでの規定は教師養成が大きな目標となっているが、今日では広く一般社会に向けたお道の学びを提供していくことも必要と感じている。既に教師補命を受けた人に対しては育成の観点から、お道に初めてふれる人に対しては、より親しみやすいところから学びを進めることができればと考え、その具体的な方法として令和6年5月より黒住教学院「オンラインお道講座」を新たに設けたい。

「教師になるには霊地大元で修行しなくてはならん」といった意見が通信講座設立当時もあったはずで、そうした声もある中、当時の先師方は学びの機会を拡大するために通信講座を開講された。今では、通信講座を経て教師になった人の割合の方が専修科修了生よりも圧倒的に多い。通信講座はオフラインであるが、一応の双方向性は担保されており、レポート採点や、課題添削を楽しみにしていた受講生も多いとよく耳にする。新たなオンラインお道講座では講師・受講生ともに身近に感じながらの学びとしていきたい。河上忠晶高弟は

見ぬ人に何と語らん富士の峰の

天津御空につづく姿を

と詠まれた。教祖神の御教えにまだ出会っていない人に対し、どうすれば伝えることができるのか、との歌意がよみとれる道歌である。現代はオンラインを通じて誰でも「見える人」になれる時代になっている。

更に、学びを前へ。150年の歴史の後を追う、私達の責任は大なるものがある。



黒住教学院 学院長

長恒 彰浩



〒701-1212

岡山市北区尾上神道山

黒住 教 学 院

TEL(086)284-2125

FAX(086)284-0222